

令和元年9月18日  
株式会社 中国銀行

### 東邦銀行との基幹系システム共同化に関する基本合意について ～「TSUBASAアライアンス」連携施策～

当行では、9月18日(水)、千葉銀行(頭取 佐久間 英利)、第四銀行(頭取 並木 富士雄)、北洋銀行(頭取 安田 光春)およびシステムベンダーの日本アイ・ピー・エム株式会社(代表取締役社長 山口 明夫)とともに、東邦銀行(頭取 北村 清士)と基幹系システムを共同化<sup>1</sup>することに基本合意しました。

当行、千葉銀行、第四銀行の3行は、すでにシステムの共同化を完了しており、昨年7月に基本合意した北洋銀行は、令和4年度の稼働を予定しています。東邦銀行は昨年3月より、関係各行(社)とシステムの開発内容や共同化によるコスト負担方式などの検討を進め、今般の基本合意に至ったものです。基幹系システムの共同化行が5行に広がったことで、「スケールメリットによるコスト削減」「商品開発・サービス提供のスピードアップ」「システム人材の育成」など、共同化のさらなる効果が期待できます。

今後は、令和5年度に予定する東邦銀行のシステム稼働に向け、各種機能の開発に関係各行(社)が協力して取組んでいくとともにシステム共同化で得られた知見を、他の「TSUBASAアライアンス」<sup>2</sup>参加行とも共有していくことで、「TSUBASAアライアンス」のさらなる価値向上を目指してまいります。

#### 【基幹系システム共同化の流れ】

年 月	内 容
平成24年10月	当行、千葉銀行、第四銀行が基幹系システムの共同化に基本合意
平成28年 1月	千葉銀行が「TSUBASA基幹系システム」の稼働を開始
平成29年 1月	第四銀行が「TSUBASA基幹系システム」の稼働を開始
平成29年 5月	当行が「TSUBASA基幹系システム」の稼働を開始 北洋銀行が基幹系システムの共同化に向けた本格的検討を開始
平成30年 3月	東邦銀行が基幹系システムの共同化に向けた本格的検討を開始
平成30年 7月	北洋銀行が基幹系システムの共同化に基本合意
令和 元年 9月	東邦銀行が基幹系システムの共同化に基本合意

- 1 当行、千葉銀行、第四銀行および日本アイ・ピー・エムが共同で開発した「TSUBASA基幹系システム」を利用し、各種機能の開発や運用・保守を共同でおこなう。
- 2 当行、千葉銀行、第四銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、北越銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行の9行が参加する地銀広域連携の枠組み。

以 上